

あらかじめ、
幸せだったらいいな。



福井県の医療・介護実態把握について

福井県健康福祉部長寿福祉課

各地域の現状

市町名	担当 医師会	二次 医療圏	面積(km ²)	人口 ¹	在宅対応 医療機関数 ²	H30訪問診療 利用者数 ³	H35訪問診療 の必要量 ⁴	H30→H35 増加率
あわら市	坂井地区	福井・ 坂井	957	400,022	114	1,574	1,733	110.1%
坂井市								
福井市								
永平寺町								
大野市	大野市	奥越	1,126	54,796	17	212	264	124.5%
勝山市	勝山市							
越前町	丹生郡	丹南	1,008	182,878	58	642	823	128.2%
鯖江市	鯖江市							
池田町								
越前市	武生							
南越前町								
敦賀市	敦賀市	嶺南	1,099	136,035	36	423	572	135.2%
美浜町	三方郡							
若狭町	小浜							
小浜市								
高浜町								
おおい町								
合計			4,190	773,731	225	2,851	3,392	119.0%

¹福井県政策統計・情報課調 (平成30年10月1日)

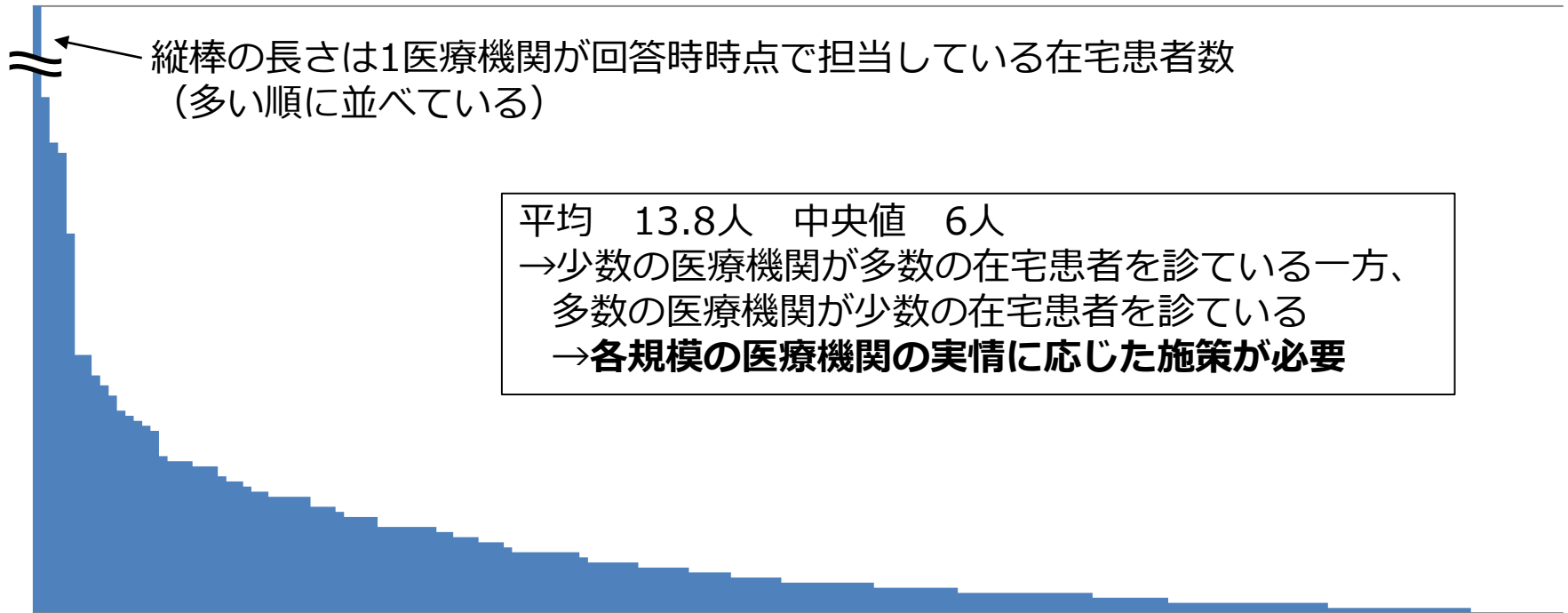
²平成31年3月福井県医療情報ネット

³平成30年9月国保レセプト ⁴福井県推計

- レセプトデータ抽出**（国保連・社保に依頼）
 - …訪問診療、在宅ターミナルケア、介護支援連携指導等の算定者数を市町別に集計
 - 医療計画の進捗確認や協議に使用
- 医療機能調査**（県内医・歯・薬各機関に対する調査票調査）
 - …在宅医療実施の有無、対応医師数、患者数、連携対象等を調査
 - 医療計画の進捗確認や協議に使用
- 訪問看護実態調査**（県内各訪問看護ステーションに対する調査票調査）※県看護協会委託
 - …ステーションの人員配置、患者居住地、介護度、対応サービス等を調査
 - 訪問看護推進施策立案に使用
- 在宅医療実態調査**（モデル地区の各診療所医師に対する調査票調査）
 - …在宅医の年齢や今後の意向を踏まえた2025年の姿、在宅医療の実施様態を見える化
 - 地域包括ケアシステム区域における医師との現状および課題の認識共有や今後の施策についての協議に使用
- 医療と介護の連携に関するアンケート**（県内居宅・小多機・看多機・包括の各事業所と有床医療機関に対する調査票調査）
 - …医療・介護が必要な方の入院・退院各ケースにおける連携状況を調査
 - 入退院支援ルールの進捗確認や協議に使用

データから施策への展開（一例）

医療機関別在宅患者数（福井県「在宅医療に関する医療機能調査」(平成29年9月)より)



20人以上の患者を受け持つ特別活発に在宅を行っている在宅医に対しては、**医療材料共同購入**や**人生会議をはじめとした住民啓発**などにより在宅医療をやりやすい環境づくりを支援する

数人～十数人程度の患者を受け持つ在宅医に対しては、**歯科医師・薬剤師等との他職種連携**による役割分担を進めることで医師の負担を軽くし、対応可能患者数を増加させる

まだ在宅医療を実施していない医師に対しては、**基礎研修（座学）**や**実地研修（同行訪問）**により在宅医療に踏み出せるようにする

ジェロントロジー共同研究事業 (訪問診療の供給量の増加施策)

在宅医療実態調査の調査結果と 今後の展開

坂井地区医師会

1 目的

2025年に向けて在宅医療の需要の増加が見込まれるため、増加に対応できる地域の医療体制のありかたを検討し、体制整備の実現に向けた取り組みを行う。

2 実施内容

- ・在宅医療実態調査

将来坂井地区でどれだけ在宅患者に対応できそうかを推計するため、「在宅医療実態調査」調査を実施する。

- ・ブロック会議での議論

上記調査結果をふまえ、在宅医療を行っている医師もいない医師も含めて、地域のこれからの在宅医療について話し合う。

- ・これからの医療体制に向けた検討

調査結果やブロック会議の意見、これまで行ってきた取り組みをふまえ、他職種連携などにより医師の負担を軽減させるための仕組みなど、在宅医療の需要増に対応できるようなこれからの医療体制に向け、検討を行う。

1 在宅医療実態調査

平成29年度調査

- 調査期間 平成29年5月～7月

- 調査対象
 - ・坂井地区内の医師（回答数44）
 - ・坂井地区内の病院・有床診療所（回答数8）
 - ・坂井地区内の訪問看護ステーション（回答数9）

- 調査方法 調査票による調査（郵送）

平成30年度調査

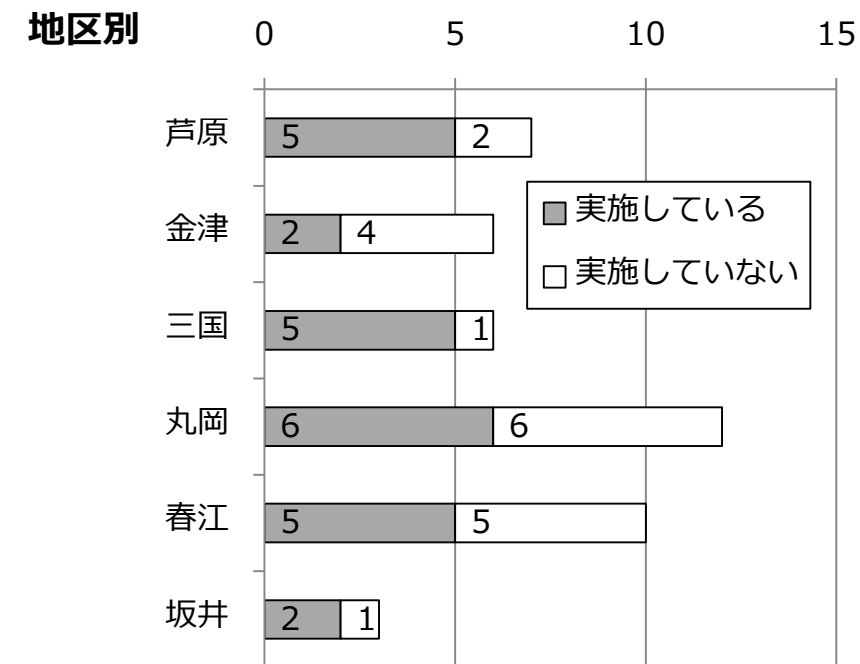
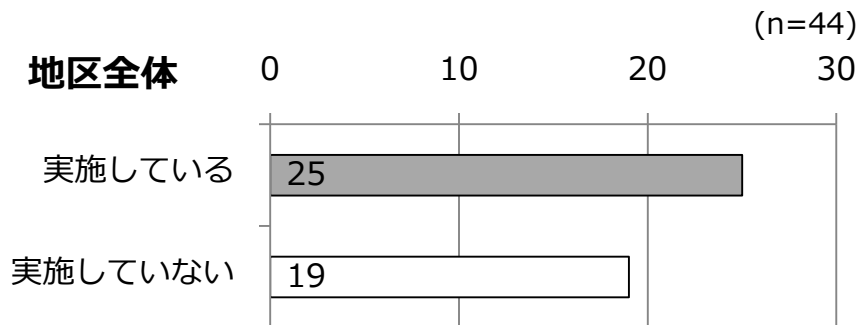
- 調査期間 平成30年6月～8月

- 調査対象
 - ・坂井地区内の医師（回答数44）

- 調査方法 調査票による調査（郵送）

在宅医療の実施状況(H30)

- 25名の医師(56.8%)が「在宅医療を実施」と回答。
 …専門科(眼科・耳鼻科・産科等)を除く診療所医師では、70.6%が「在宅医療を実施」と回答。
- 在宅患者1人あたりの訪問診療・往診回数は1.41件/月(約3週間に1回の訪問)。



在宅医療等の訪問内訳

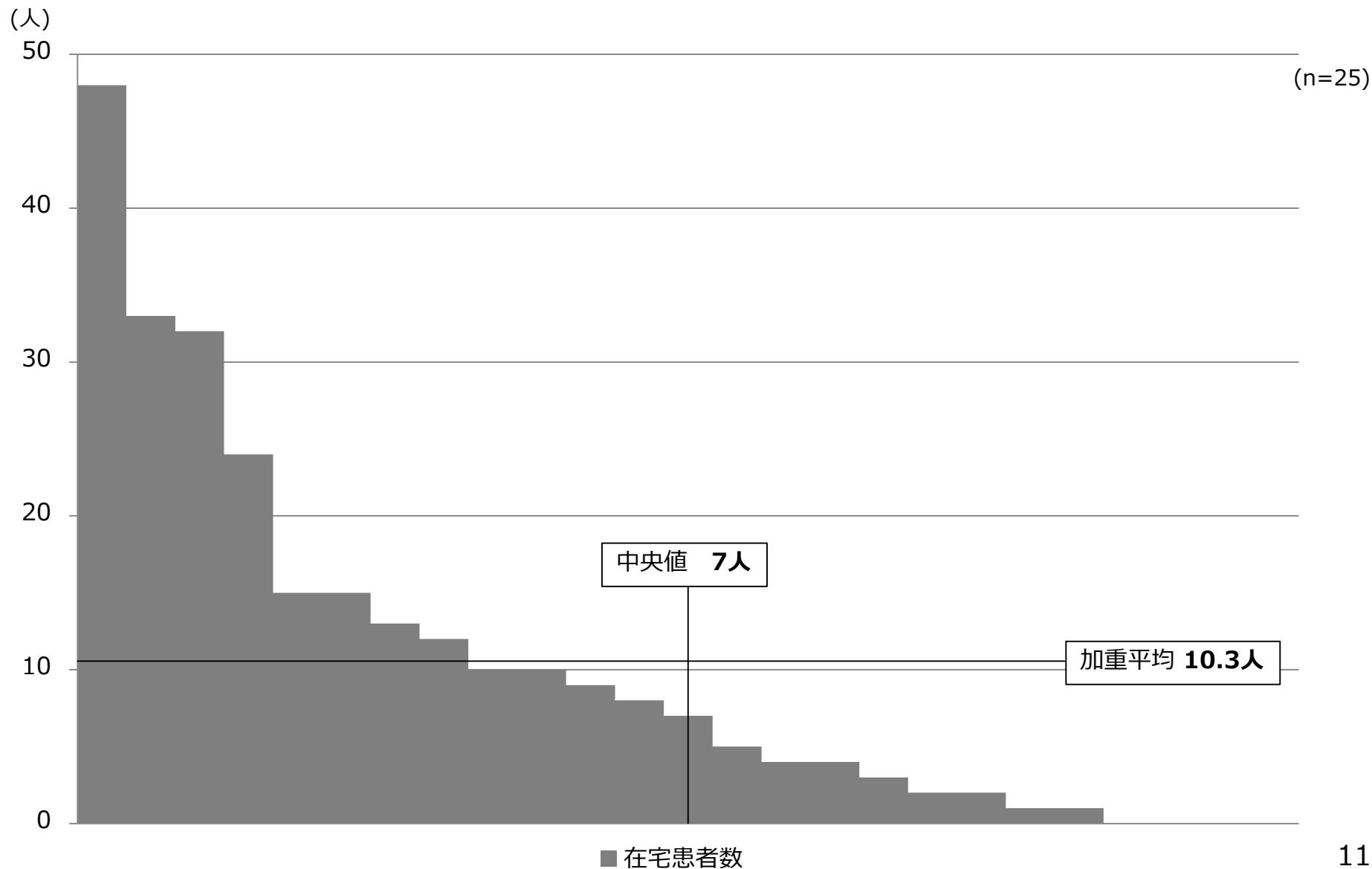
(n=25)

		訪問診療 人数	訪問件数	月平均 訪問頻度
訪問 診療	個人宅等	164人	206件	1.26件
	集合住宅 等	65人	訪問人数 78件 *訪問回数 19回	1.20件 0.29回
	隣接建物 等	29人	29件	1.00件
	訪問診療 計	258人	訪問人数 313件 訪問回数 254回	1.21件 0.98回
往診		-	50件	-
訪問診療 ・往診計		258人	363件	1.41件
(参考) 施設嘱託		-	46回	-

*集合住宅の訪問回数は、建物を訪問した回数を示す。
 (例:1日にA施設で10人、15日にA施設で8人、B施設で5人訪問
 →訪問人数23人、訪問回数3回)

医師別対応在宅患者数(H30)

○対応患者数の中央値は7人で、おおまかにべき分布をしている。
(30人以上診ている医師が3名いる一方、3分の1の医師は診ている患者が2人未満とばらつきがある)



訪問元と訪問先の関係(H29)

○ブロック内訪問率（例：芦原の医師が芦原の患者を診る）は86.1%であった。
（多くは域内で収まっている）

○各医療機関所在地における患者居住地割合（%）
（例：三国の先生の7.6%は芦原の患者を診ている）

(n=30)

		在宅患者居住地						
		芦原	金津	三国	丸岡	春江	坂井	域外
医療機関所在地	芦原	82.9	5.7	8.6			2.9	
	金津		100					
	三国	7.6		72.7	15.1		4.5	
	丸岡				97.3	1.4		1.4
	春江				2.9	97.1		
	坂井	3.3	6.7	6.7		10.0	73.3	



○各患者居住地における医療機関所在地割合（%）
（例：芦原の患者の14.3%は三国から先生に来てもらっている）

		在宅患者居住地						
		芦原	金津	三国	丸岡	春江	坂井	
医療機関所在地	芦原	82.9	11.1	5.7			3.8	
	金津		77.8					
	三国	14.3		90.6	12.2		11.5	
	丸岡				86.6	2.7		
	春江				1.2	89.2		
	坂井	2.9	11.1	3.8		8.1	84.6	

※域外の医療機関は集計対象外

訪問対応範囲・訪問診療の所要時間 (H29)

○訪問に出かけるイメージは、1人の患者に対して月1,2回、診療約15分、移動時間往復約30分(最大)。

概ね何kmまで訪問するか？

(n=30)

加重平均 7.47km 中央値 6km

概ね車で何分の距離まで訪問するか？

加重平均 17.4分 中央値 15分

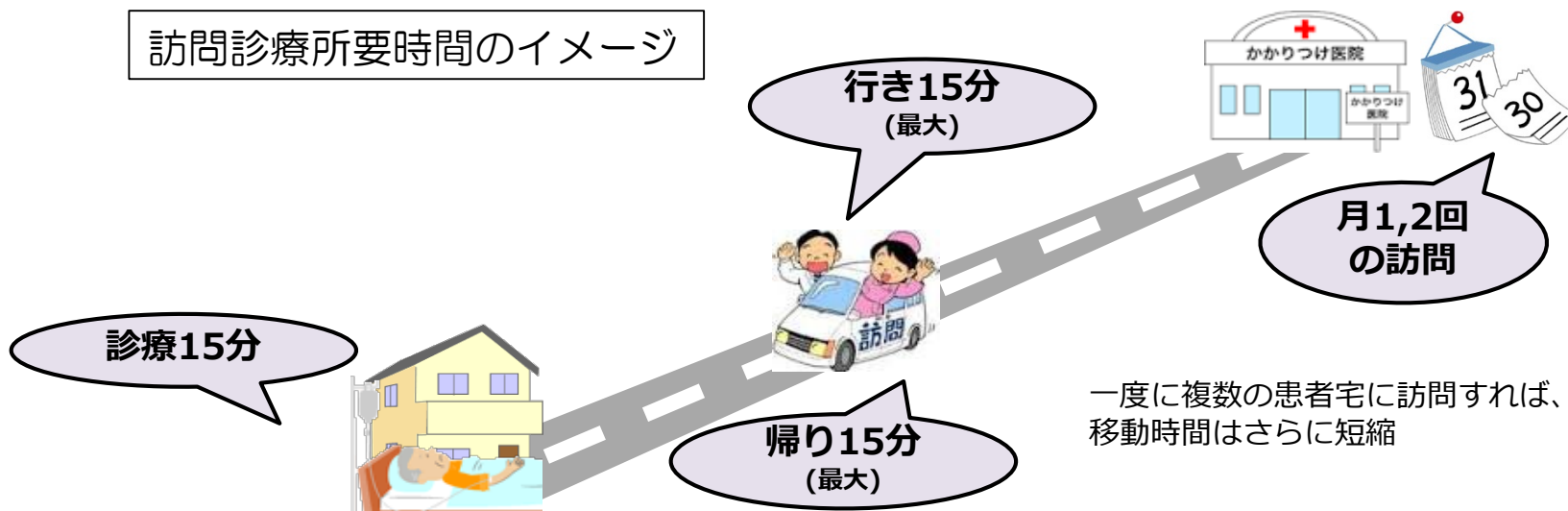
どれくらいの頻度で訪問するか？ (慢性期の患者の場合)

8割以上の医師が1~2回/月の範囲で回答

患者1人当たりの診療時間はどれくらいか？ (慢性期の患者の場合)

加重平均 16.2分 中央値 15分

訪問診療所要時間のイメージ

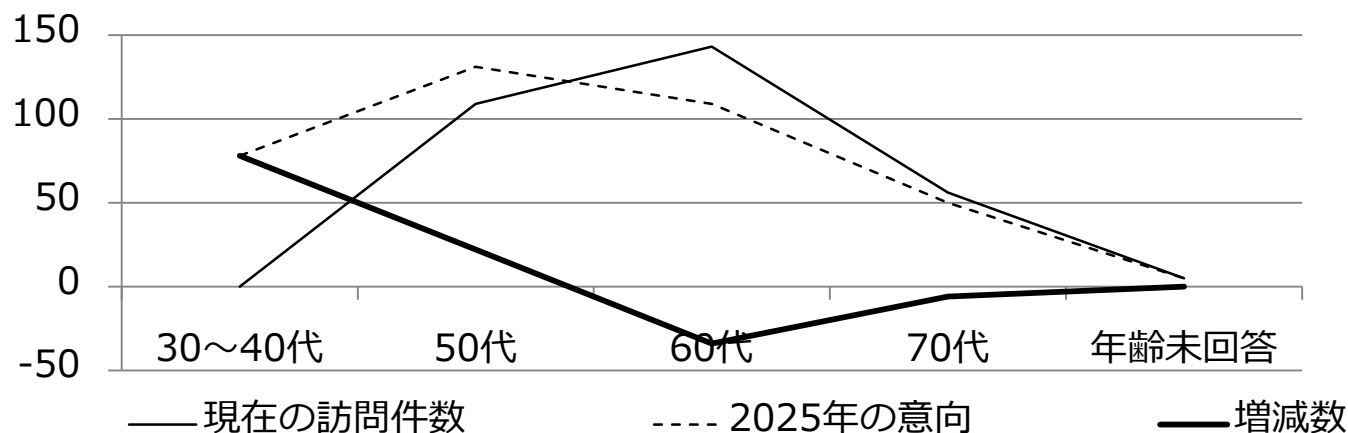


2025年の訪問意向(H30)

- 約7割の在宅医が2025年の訪問件数が現在より増える意向であった。
- 50代以下では2025年の訪問意向件数が現在の訪問件数を上回るのに対し、60代以上では下回る。

(n=25)

	30~40代	50代	60代	70代	年齢未回答	合計
増える意向	3名	5名	6名	2名	1名	17名
現状維持の意向	0名	1名	0名	0名	0名	1名
減る意向	0名	1名	3名	0名	0名	4名
無回答	0名	0名	0名	2名	1名	3名
現在の訪問件数	0件	109件	143件	56件	5件	313件
2025年の訪問意向件数	78件	131件	109件	50件 (無回答17)	5件 (無回答5)	373件 (無回答22)
増減数	78件	22件	-34件	-6件	0件	60件



訪問時間の確保の方法(H30)

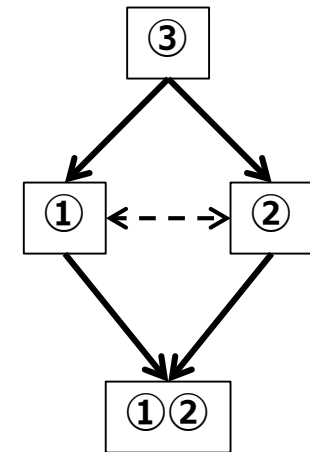
- 訪問時間の確保の方法は、3パターンに分けられる。
- 外来の合間にのみ訪問するよりも、昼休み等に訪問に行くことでより多く訪問できている。
- 将来訪問時間を拡充できるパターンを採用する意向を示しているのは6名で、いずれも訪問件数を増やす意向を示している。

(n=25)

	採用医師数	月平均訪問回数
①昼休みに訪問	8名	11.5回
②外来時間・昼休み以外に訪問（木曜午後・夕方など）	7名	11.7回
①②の複数採用	4名	11.8回
③特に訪問に出る時間を設けない（外来の時間内に合間をみて随時訪問）	5名	6.6回

※1名未回答

	医師数	訪問件数の意向			
		増える	現状維持	減る	未回答
拡充パターン	6名	6名			
その他パターン	1名	1名			
現状維持	12名	8名	1名	3名	
意向未回答	6名	2名		1名	3名



→ 拡充パターン

- - -> その他パターン

2 ブロック会議

- 地域包括ケアシステムに相当する身近な範囲でのこれからの在宅医療の提供について考えるため、おおむね旧町ごとの小ブロック*ごとに在宅医療を実施している医師も実施していない医師も一緒に話し合いを実施。
(平成30年11月 4ブロック×1回実施)
*あわらブロック(旧金津町・旧芦原町)、三国ブロック(旧三国町)、丸岡(旧丸岡町)、春坂ブロック(旧春江町・旧坂井町)
- 旧町ごとに、現在の在宅医療の状況と2025年の訪問診療の見通しを示した個票を作成。在宅医療実態調査の結果と個票を材料に話しあいを実施。
- 将来の在宅医療の需要見通しに現在の医師が対応する場合の規模感を共有するため、個々の医師の対応量を「20人程度診療」「10人程度診療」「3人程度診療」「(在宅医のサポート)」の4つに分け、それぞれ何名ほど必要かを試算。(医師の高齢化を考慮し、60代以下の医師を対象とした。また、上記でも足りない分を計算し、不足分を病院が担うと仮定した)

1 所在医療機関

診療所…〇〇医院、〇〇クリニック・・・
 病 院…〇〇病院・・・

2 在宅医数

5名

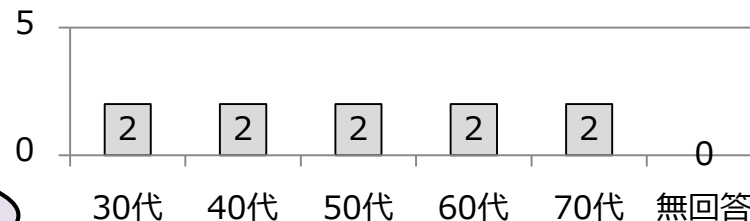
4 訪問診療供給量

50人（2017・18年実績平均） → 100人（2025年推計） [+100.0%]

※2017年50人、2018年50人 ※2025年意向は80人

在宅医1名あたり
20.0人

3 診療所医師の年齢分布



5 訪問パターン

	現在の採用	将来の意向
①外来の合間	2名	1名
②昼休み	1名	2名
③外来・昼以外	1名	1名
②③複数採用	1名	1名
未回答		

6 現在60代以下の医師で将来の需要増に対応するには…(例)

20人程度診療	2名
10人程度診療	3名
3人程度診療	3名
(在宅医のサポート)	2名
病院	30人程度診療

○在宅医療の需要増について

- ・在宅患者の人数だけを出しているが、重症患者が増え、1人当たりの対応時間が増えており、そうしたことも考慮に入れる必要がある。
- ・2025年の先、2030年や2040年の方がむしろ深刻ではないか。

○在宅医の働き方について

- ・往診は、その都度訪問する時間を確保するが、訪問診療は計画的に訪問するのでフレキシブルな時間の確保というスタイルはそぐわないのではないか。
- ・昼休みや木曜午後は休む時間。この時間まで働くのは体力的にも厳しい。医師の働き方改革に逆行している。

○地域の体制・担い手について

- ・医師でこれまで以上の対応を取っていくのは限界がある。手詰まり感がある。中堅・若手の開業医はこれからあまり出てこないのではないか。
- ・訪問専門外来との提携も必要になってくるのではないか。また、訪問診療はやりがいがあって「ハマる」ものなので、「ハマった」先生を引き込んでいくことが必要ではないか。
- ・医療費が払えなくて医療が十分に受けられず、死に至るケースが出てきている。高齢化だけでなく、貧困問題や少子化問題も考えなければならない。

○多職種や病院との連携について

- ・ 専門科医は、皮膚科等は既に訪問に対応いただいているが、他の診療科の医師は多職種連携の中で携っていただければいいと思う。
- ・ 現在の開業医で全てカバーするのは無理がある。これからは病院が積極的に訪問診療を行うことを考える必要があるのではないか。今後は、診療報酬上も病院のそうした役割が重視され、病院が開業医の肩代わりをする時代になっていくのではないか。
- ・ 訪問に出る余力がある病院の医師はいるものなのか？
→(病院)病院も、医師さえ増えれば訪問に出かける余裕は出る（結局は医師確保の問題）。
- ・ 在宅を行う病院も出てきているが、一方で病院で全てカバーするのも無理がある。
- ・ 病院はいざという時に受け入れてくれる、という役割をしっかりと果たしてもらうことが重要。患者の家族も重症になったときには入院を望むことが多い。
- ・ 医師もそうだが、訪問看護師も24時間対応が負担になっている。たとえば、昼間は働かず、夜勤のみを行う看護師を募集するなど、24時間働ける体制づくりが重要。
- ・ 訪問看護を充実させる必要がある。看取りの場合も、亡くなるまで対応してくれ、最期だけ医師が対応すればよいのでありがたいが、ステーションに電話しても看護師が出払っていて対応できない場合もある。
- ・ 結局最終的に診療するのは在宅医なのだから、多職種連携により訪問看護師などが在宅医を支えるにしても、限界はある。

3 これからの医療体制に向けた検討

- 坂井地区在宅ケアネット運営委員会で、テーマと、各テーマを担当するワーキンググループの構成員を設定。

- 各ワーキンググループは、適宜集まったりメールなどのやりとりをしたりして議論を進め、ケアネット運営委員会で議論の進捗を報告。運営委員会でその内容を検討して内容を深化させていく。

- 今年度のテーマ
 - ①在宅医の負担軽減

 - ②在宅医療普及啓発

 - ③安心連携カード*普及

*坂井地区医師会と地区内7病院の協定による、患者ごとに後方支援病院の設定や情報連携を行う病診連携システム

①在宅医の負担軽減

・「副主治医制の課題」

病院の副主治医と在宅での副主治医は意味が違う

病院…いつも回診に同行

在宅…急変時に往診してもできることは限られており、病院受診となることが多い

→看取りの時以外副主治医が出動する場面は少ない

→友人関係、地域関係を基にした緩やかな副主治医制や病院に依頼する副主治医が現実的
(輪番制ルールなど作るのは調整が難しい)

・「24時間対応の訪問看護との連携」

訪問看護ステーション側にとっても、マンパワーや働き方問題で負担が大きいのが現状

→十分な24時間対応を行うにも課題がある

在宅医も現在の報酬体系や働き方では新規参入は難しい

・安心連携カードなどを使った後方支援病院との情報共有を強化し、主治医不在でもスムーズに受け渡しができる病診連携を検討することが重要

・在宅医療リソースの偏在が一部認められるが、今のところは在宅医としては困っていない

→今後の情勢によっては、地区外からのリソースを受け入れることも検討が必要か？

②在宅医療普及啓発

- ・「ACPの普及に向けた課題」
 - ①医療者がまだ十分にACPを理解していない
 - ②行政もACPが今後の地域包括ケアに重要であるという認識に欠けている
 - 一般市民への普及が進んでいない
 - 医師会…会員向けの啓発や市民向けのパンフレットの改良を行い普及に努める
 - 行政…厚労省がACPの愛称を「人生会議」と決め、11月30日をその制定日にしたことを踏まえて一般市民にアピールすることを求める

③安心連携カード普及

- ・「安心連携カードの普及に向けた課題」
 - ①カードの登録やその記載について（在宅医にとって）手間がかかる
 - ②情報内容の不足
 - ③カードがあっても受け入れられないことがあり、患者とのトラブルが懸念される
 - 発行(登録)の手続き、カードの記載内容を見直しが必要
 - 訪問看護ステーションの名前
 - 病院の連絡先、救急隊員に提示して下さい等の言葉を記入する
 - 主病名や在宅医療となっている症状 など

ルール作りが必要…情報共有をいつ/誰が/どのように行うか

 - 登録患者の病院側の受け入れ方法
 - 登録患者へのカード運用の説明方法 など

患者のリアルタイムの情報更新にカナミック（ICTサービス）を活用
（ただし、変化する医療情報をカルテのように順次更新することは在宅主治医の負担が大きい）
- ・家族の安心がこのカードの一番の目的であり、登録から運用までの一貫した説明は在宅主治医の仕事である

医療計画（在宅医療）の進捗管理に係る
在宅医療関連の電子レセプトデータ抽出および情報提供（福井県）

○依頼先

- ・ 福井県国民健康保険団体連合会
- ・ 社会保険診療報酬支払基金福井支部

○抽出依頼データ

- ① 在宅患者訪問診療料または往診料を算定している医科医療機関数
- ② 在宅患者訪問診療料または往診料の算定を受けた被保険者数
※訪問診療料と往診料を重複算定している場合には1件とカウント
- ③ 在宅患者訪問診療料の算定を受けた被保険者数
- ④ 往診料の算定を受けた被保険者数
- ⑤ 在宅ターミナルケア加算を算定している医科医療機関数
- ⑥ 在宅ターミナルケア加算の算定を受けた被保険者数
- ⑦ 在宅看取り加算を算定している医科医療機関数
- ⑧ 在宅看取り加算の算定を受けた被保険者数
- ⑨ 歯科訪問診療料を算定している歯科医療機関数
- ⑩ 歯科訪問診療料の算定を受けた被保険者数
- ⑪ 退院支援加算を算定している医科医療機関数
※1, 2, 3を分けてカウント
- ⑫ 退院支援加算の算定を受けた被保険者数
- ⑬ 介護支援連携指導料を算定している医科医療機関数
- ⑭ 介護支援連携指導料の算定を受けた被保険者数
- ⑮ 退院時共同指導料を算定している医科医療機関数
- ⑯ 退院時共同指導料の算定を受けた被保険者数
- ⑰ 退院後訪問指導料を算定している医科医療機関数
- ⑱ 退院後訪問指導料の算定を受けた被保険者数

○集計対象

- ・ 期間
⑤⑥⑬⑭：4～9月診療分
上記以外：10月診療分
- ・ 国保および後期の県内分または委託分
- ・ 医科および歯科
- ・ 電子レセプト
- ・ 過誤データを除く
- ・ ①、②、③、⑥、⑨、⑩、⑭は市町別に集計（医療機関数は医療機関所在地ベース、被保険者数は患者居住地ベース）

【在宅医療】

在宅医療（医科）				
○対応している在宅医療をお答えください。	あてはまるものすべてに○			
	訪問診療	往診	在宅ターミナルケア	小児在宅
	現在未実施だが実施意向有り		未実施	
※上記質問で「現在未実施だが実施意向有り」または「未対応」に回答された施設については、在宅医療（医科）についての質問は以上です。				
○在宅医療を担当している医師数をお答えください。	人数を記入			
	常勤医師	非常勤医師		
<訪問診療対応機関のみ回答してください>				
○回答時現在に担当されている訪問診療の患者数をお答えください。 また、平成29年9月の1ヶ月で実施された訪問診療の件数をお答えください。	人数を記入	件数を記入		
○在宅看取りや介護施設や高齢者施設等での看取り等、「医療機関外での看取り」には対応していますか。 また、平成29年4月～9月の半年間で実施された医療機関外での看取りの患者数をお答えください。	(○/×) 対応	人数を記入		
○夜間や県外出張時、多患者対応時などに患者が急変した際に他の医師に支援を受ける体制（主治医・副主治医制）をとっていますか。	(○/×) 対応	依頼先（あてはまるものすべてに○）		
		自院内	他院	
○上記の「主治医・副主治医制」の副主治医を担当されていますか。	(○/×) 対応			
○患者急変時の受け入れ先病院を、病院との連携の上あらかじめ設定していますか。	いずれかに○			
	原則設定	必要に応じて設定	設定なし	自院に入院
○在宅医療を受ける患者の療養にあたって、連携をとっている関係者をお答えください。	あてはまるものすべてに○			
	訪問歯科医	訪問薬剤師	訪問看護師	リハ職 ケアマネジャー
	管理栄養士	他の在宅医	病院医師	その他（自由記載）

入退院支援・在宅医療連携

<病院・有床診療所のみ回答してください>

○在宅患者の急変時受け入れに対応していますか。	あてはまるものすべてに○				
	あらかじめ在宅医と連携のうえ対応	左記以外の場合も対応			
○在宅患者の「レスパイト入院」の受け入れに対応していますか。	(○/×)				
	対応				
○管理栄養士を配置していますか。 また、管理栄養士による居宅療養管理指導を実施していますか。 (他院の在宅医からの紹介を受けて管理栄養士に指示する場合を含む) また、居宅療養管理指導を担当している管理栄養士数をお答えください。	(○/×)	(○/×)	人数を記入		
	栄養士配置	居宅対応			
○退院後の在宅での療養が必要となる患者に対し、実施している退院支援をお答えください。	あてはまるものすべてに○				
	介護支援連携指導	退院時共同指導	退院後訪問指導		
※上記質問でいずれも実施されていない施設については、入退院支援についての質問は以上です。					
○退院支援を主たる業務とする担当者を配置していますか。	(○/×)	人数を記入			
	配置				
<p><退院時共同指導実施機関のみ回答></p> <p>○退院時カンファレンスを実施するにあたって、参加の声かけを行ったことがある職種をお答えください。</p>	あてはまるものすべてに○				
	病院主治医	病院看護師・MSW等	病院リハ職	在宅主治医	在宅歯科医
	在宅薬剤師	訪問看護師	訪問リハ職	ケアマネジャー	管理栄養士
	転院先の医師・看護師等		その他(自由記載)		

在宅医療（歯科）

○歯科訪問診療に対応していますか。	いずれかに○			
	対応	現在未対応だが対応意向有り	未対応	
※上記質問で「対応」以外に回答された施設については、在宅医療（歯科）についての質問は以上です。				
○歯科訪問診療を担当している歯科医師数をお答えください。	人数を記入			
○平成29年4月～9月の半年間で実施された歯科訪問診療の患者数・件数をお答えください。	人数を記入	件数を記入		
○患者が在宅で療養するにあたって、連携をとっている関係者をお答えください。	あてはまるものすべてに○			
	在宅医	病院医師	訪問看護師	リハ職
	ケアマネジャー	その他(自由記載)		
	管理栄養士	他の歯科医		
○歯科衛生士による訪問歯科衛生指導または居宅療養管理指導を実施していますか。 また、その歯科衛生士数をお答えください。	(○/×)	人数を記入		
	実施			

在宅医療（薬剤師）					
○訪問薬剤管理指導に対応していますか。	いずれかに○				
	「在宅患者訪問薬剤管理指導料」を届出た上で訪問指導を行っている		先の届出をせずに訪問指導を行っている		
	現在未対応だが対応意向有り	未対応			
※上記質問で「現在未対応だが対応意向有り」または「未対応」に回答された施設については、在宅医療（薬剤師）についての質問は以上です。					
○訪問薬剤管理指導を担当している薬剤師数をお答えください。	人数を記入				
○平成29年4月～9月の半年間で実施された訪問薬剤管理指導の利用者数・件数をお答えください。	人数を記入	件数を記入			
○患者が在宅で療養するにあたって、連携をとっている関係者をお答えください。	あてはまるものすべてに○				
	在宅医	病院医師	訪問看護師	ケアマネジャー	管理栄養士
	他の薬剤師	病院薬剤師	その他（自由記載）		
○麻薬小売業の免許を取得していますか。	いずれかに○				
	取得	現在未取得だが取得意向有り	未取得		
○無菌調剤処理に対応していますか。	いずれかに○				
	対応（自前）	対応（共同利用）	現在未対応だが対応意向有り	未対応	

平成30年度 訪問看護実態調査票

事業所名： _____

下記の設問について、施設の訪問看護責任者および担当者をご記入くださるようお願い致します。
調査対象期間及び調査日の指定がある質問以外は、年間単位でご回答ください。

本体施設の所在地をお答え下さい

- | | | | | |
|------------------------------|-------------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 福井市 | <input type="checkbox"/> 敦賀市 | <input type="checkbox"/> 小浜市 | <input type="checkbox"/> 大野市 | <input type="checkbox"/> 勝山市 |
| <input type="checkbox"/> 鯖江市 | <input type="checkbox"/> あわら市 | <input type="checkbox"/> 越前市 | <input type="checkbox"/> 坂井市 | <input type="checkbox"/> 永平寺町 |
| <input type="checkbox"/> 越前町 | <input type="checkbox"/> 美浜町 | <input type="checkbox"/> 高浜町 | <input type="checkbox"/> 若狭町 | |

I 従事者の状況について

平成30年10月1日現在の状況でお答え下さい

1) 従事者数 (人)

事業別	職種	常勤者(管理者含む)		非常勤者
		専従	兼務	
訪問看護事業	保健師			
	助産師			
	看護師			
	准看護師			
	理学療法士			
	作業療法士			
	言語聴覚士			
	事務職員			
	看護補助者			

2) 管理者の勤務状況

- 専任
 兼任

兼任の業務内容

()

()

3) 看護職常勤換算数

(.)

小数点第1位まで

※管理者は、管理業務及び兼任業務を除いた時間を換算して下さい

II 利用者について

平成30年9月1日～9月30日の1ヶ月間でお答え下さい

1. 利用者数(実人数)及び訪問回数

1) 利用者数

③利用者総数 ①+② = _____ 人	介護保険	(再掲)特別管理加算の算定者数	(再掲)緊急時訪問看護加算の算定者数	(再掲)特別指示書の人数
	①			
	医療保険	(再掲)特別管理加算の算定者数	(再掲)24時間対応体制加算・連絡体制加算の算定者数	(再掲)特別指示書の人数
	②			

	介護保険	医療保険
⑫総訪問回数 ⑦+⑩ = _____ 回		
営業時間内の訪問回数	④	⑧
営業時間以外の計画的訪問回数 (夜間・深夜・早朝含む)	⑤	⑨
営業時間以外の緊急訪問回数	⑥	⑩
訪問回数(回)	⑦ = (④+⑤+⑥)	⑩ = (⑧+⑨+⑩)

2. 保険別(時間別、職種別)訪問回数

1) 介護保険の時間別訪問回数

(1) [看護師] (回)

20分未満		合計数 ⑦
30分未満		
30分以上60分未満		
60分以上90分未満		
(2) [理学療法士等]		
1単位		
2単位		
3単位		

2) 医療保険の職種別訪問回数 (回)

看護職		合計数 ①
理学療法士等		

3) 全保険の職種別利用者数 (人)

看護職のみ		合計数 ③
看護職と理学療法士等		

3. 要介護度別利用者数 (人) ※1,2

	介護保険	医療保険
要支援1・2		
要介護1		
要介護2		
要介護3		
要介護4		
要介護5		
介護保険申請中		
介護保険申請なし		
	合計数 ①	合計数 ②

※1 9月30日時点の全利用者の介護度

※2 30日の時点で特別指示書で実施している場合は
従来の保険の欄に記入

4. 年齢別の利用者数 (人)

0歳以上6歳未満		合計数 ③
6歳以上15歳未満		
15歳以上18歳未満		
18歳以上40歳未満		
40歳以上65歳未満		
65歳以上75歳未満		
75歳以上		

5. 疾患に関すること

1) 0歳以上18歳未満の主傷病名別利用者数 (人)

悪性新生物		血液疾患	
慢性腎疾患		免疫疾患	
慢性呼吸器疾患		神経・筋疾患	
慢性心疾患		慢性消化器疾患	
内分泌疾患		皮膚疾患群	
膠原病		骨系統疾患	
糖尿病		脈管系疾患	
先天性代謝異常		その他	
染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群			

2) 18歳以上の主傷病名別利用者数 (人)

難病	
悪性新生物	
脳血管疾患	
心疾患	
肺疾患	
筋骨系疾患	
精神疾患(認知症を除く)	
認知機能障害	
腎疾患	
その他	

※小児慢性特定疾病分類より

1) + 2) = 合計数③

6. 居住地について

1) 居住地(17市町)利用者数 (人)

あわら市		越前町		敦賀市		合計数 ③
坂井市		鯖江市		美浜町		
福井市		越前市		若狭町		
永平寺町		池田町		小浜市		
大野市		南越前町		高浜町		
勝山市		滋賀県(市)		おおい町		
石川県(市)		その他()		京都府(市)		

Ⅲ-2 訪問看護の実施体制について

3-1) 精神科訪問看護療養費届出について	<input type="checkbox"/> 精神科訪問看護基本療養費の届出をしている→3-2)へ <input type="checkbox"/> 精神科訪問看護基本療養費の届出をしていない <input type="checkbox"/> 精神科訪問看護基本療養費の届出をする予定である																																													
3-2) 精神科訪問看護の実施について	平成30年9月1日～9月30日の1ヶ月間でお答えください <input type="checkbox"/> 精神科訪問看護を行った → 実人数※ <input type="text"/> 人 <input type="checkbox"/> 精神科訪問看護は行っていない ※延べではない。例) 1人が9月1ヶ月間に10回訪問した場合は「1人」																																													
4 小児訪問看護の実施について	平成30年4月1日～9月30日の6ヶ月間でお答えください <input type="checkbox"/> 小児訪問看護を行った → 実人数 <input type="text"/> 人 <input type="checkbox"/> 小児訪問看護は行っていない 運営上の意見																																													
5 機能強化型訪問看護管理療養費について	<input type="checkbox"/> 届出あり <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 届出なし <input type="checkbox"/> 届出予定 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 運営上の意見																																													
6 看護体制強化加算について	<input type="checkbox"/> 届出あり <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> 届出なし <input type="checkbox"/> 届出予定 <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II 運営上の意見																																													
7 看護小規模多機能型居宅介護について	<input type="checkbox"/> 届出あり ↓ <input type="checkbox"/> 届出なし <input type="checkbox"/> 届出予定 平成30年9月1日～9月30日の1ヶ月間でお答えください ①利用者総数 <input type="text"/> 人 ②届け出定員数 <input type="text"/> 人 運営上の意見																																													
8-1) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護について	<input type="checkbox"/> 実施している (<input type="checkbox"/> 一体型 <input type="checkbox"/> 連携型 →8-2)へ <input type="checkbox"/> 実施予定 (<input type="checkbox"/> 一体型 <input type="checkbox"/> 連携型) <input type="checkbox"/> 実施予定はない																																													
8-2) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護実施状況について	平成30年9月1日～9月30日の1ヶ月間の利用者についてお答えください 利用者総数 <input type="text"/> 人 運営上の意見																																													
9-1) 複数訪問看護ステーション連携について	平成30年4月1日～9月30日の6ヶ月間でお答えください <input type="checkbox"/> 複数の訪問看護ステーションと協働したケースがある→9-2)へ <input type="checkbox"/> 複数の訪問看護ステーションと協働したケースがない																																													
9-2) 協働したケースについて	<table border="1"> <tr> <td>①利用者 (人)</td> <td>成人</td> <td><input type="text"/></td> <td>人</td> <td>小児</td> <td><input type="text"/></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">②主傷病名 (人)</td> <td>難病</td> <td><input type="text"/></td> <td></td> <td>筋骨系疾患</td> <td><input type="text"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>がん</td> <td><input type="text"/></td> <td></td> <td>精神疾患(認知症除く)</td> <td><input type="text"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>脳血管疾患</td> <td><input type="text"/></td> <td></td> <td>認知機能障害</td> <td><input type="text"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>心疾患</td> <td><input type="text"/></td> <td></td> <td>腎疾患</td> <td><input type="text"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td>肺疾患</td> <td><input type="text"/></td> <td></td> <td>小児疾患</td> <td><input type="text"/></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td><input type="text"/></td> <td></td> <td></td> <td><input type="text"/></td> <td></td> </tr> </table> 協働に関する意見	①利用者 (人)	成人	<input type="text"/>	人	小児	<input type="text"/>	人	②主傷病名 (人)	難病	<input type="text"/>		筋骨系疾患	<input type="text"/>		がん	<input type="text"/>		精神疾患(認知症除く)	<input type="text"/>		脳血管疾患	<input type="text"/>		認知機能障害	<input type="text"/>		心疾患	<input type="text"/>		腎疾患	<input type="text"/>		肺疾患	<input type="text"/>		小児疾患	<input type="text"/>			その他	<input type="text"/>			<input type="text"/>	
①利用者 (人)	成人	<input type="text"/>	人	小児	<input type="text"/>	人																																								
②主傷病名 (人)	難病	<input type="text"/>		筋骨系疾患	<input type="text"/>																																									
	がん	<input type="text"/>		精神疾患(認知症除く)	<input type="text"/>																																									
	脳血管疾患	<input type="text"/>		認知機能障害	<input type="text"/>																																									
	心疾患	<input type="text"/>		腎疾患	<input type="text"/>																																									
	肺疾患	<input type="text"/>		小児疾患	<input type="text"/>																																									
	その他	<input type="text"/>			<input type="text"/>																																									

在宅医療実態調査 調査票

団塊の世代が全て後期高齢者となる 2025 年に備え、見込まれる在宅医療の需要増への対応が喫緊の課題となっています。そこで、坂井地区において各医療機関の皆様がどのように在宅医療に取り組んでいるのかを把握することで今後の効果的な在宅医療施策に繋げることを目的とした調査を実施しますので、御協力をよろしくお願いいたします。

なお、ご回答いただいた内容については、匿名化した集計結果を坂井地区医師会内においてのみ公表し医師会外に出す情報については都度協議するとともに、個票は一切非公表といたします。また、ご回答いただいた内容を基に個別の医療機関にとって有利または不利になる取り扱いを行うことや特定の施策の実施を依頼することはありません。

回答方法

- ・医療機関ごとではなく、医師ごとにご回答ください。（病院は、在宅医療を実施している医師のみご回答ください）
- ・行頭が「□」のものは選択回答式ですので、該当箇所に「 (チェック)」を入れてください。

氏名：

医療機関名：

問 1 は全ての方が回答してください

問 1 在宅医療は実施していますか。

- 訪問診療や往診を実施している → 問 2 へ
- 訪問診療や往診を実施していたが、今はしていない
→（実施しなくなった理由： _____ ） → 問 5 へ
- 訪問はしていないが、在宅医療の協力体制を取っている
→（協力体制の内容： _____ ） → 問 5 へ
- 今は訪問診療していないが、将来始めるつもりである → 問 5 へ
- 外来のみ実施している → 問 5 へ

問 2 ～ 4 は現在訪問診療や往診を実施している方のみ回答してください

問 2 在宅での診療の実際

2.1 対応している在宅医療の項目をお答えください。（複数回答可）（実績がある・ないに関わらず、対応可能としている場合はチェックしてください）

- 訪問診療
- 往診（外来時間内）
- 往診（外来時間外）
- 訪問診療利用患者以外への往診
- 在宅ターミナルケア
- 在宅看取り
- 小児在宅

※訪問診療…計画的な医学管理の下に定期的に訪問して行う診療

往診…患者の求めに応じて患家に赴き行う診療（訪問診療を除く）

ターミナルケア…死亡日前 2 週間以内の往診または訪問診療

2.7 1週間の外来／訪問に充てる時間の配分を、凡例に記載の番号でお答えください。
(おおまかで結構です)

[凡例]①外来(他院の非常勤等を含む)／②訪問に専念／③外来の合間を見て訪問／
④施設等の嘱託／×診療を行わない／(どれにも当てはまらない場合は自由記述)

	午前	昼休み	午後	夕方	外来終了後
例	①	×	②	③	×
月					
火					
水					
木					
金					
土					
日					

2.8 外来時間内に緊急往診が必要となる場合の対応の仕方をお答えください。(複数回答可)

- 先に訪問看護師に出動してもらい、緊急度を確認する
- 連携している医師に往診に行ってもらう
- 連携している受け入れ病院に搬送してもらう
- その他→(内容:)

2.9 新たな在宅患者を受け入れるかどうかを判断する際に考慮する事項をお答えください。
(複数回答可)

- 受け入れ時点でターミナル期等対応が難しい在宅患者を多く抱えているかどうか
- 外来時間を減らせる余裕があるかどうか(訪問する時間が確保できるかどうか)
- 対応にあたってご自身にとってかなり負担になる症状かどうか
- 本人・家族によるケアの体制や心構えが十分と思われるかどうか
- 自院の医師数や看護師数等の体制が十分かどうか
- 訪問看護ステーションや他の介護サービス等との連携が十分とれるかどうか
- 診療所から患者宅までの距離
- その他→(内容:)

2.10 現在の貴医療機関の環境・体制から鑑みて、受け入れ可能だと思われる慢性期の在宅患者数をお答えください。(感覚ベースで結構です)

- 1～2人 3～4人 5人程度 10人程度
- 15人程度 20人程度 25人程度 30人程度
- それ以上→(人程度)

2.11 その他、在宅医療を実施するにあたって工夫していることがありましたらお教えください。

例: 近隣の患者宅をまとめて訪問する

3 他機関との連携

3.1 他医療機関との連携の取り組みについてお答えください。(複数回答可)

- 他診療所に副主治医をお願いしている

→3.1.1 どのようにお願いしているかお答えください。

- 新たに引き受けた患者ごとに副主治医を引き受けてもらう
 原則自分が引き受けている患者の副主治医を包括的に引き受けてもらう
 その他→ (内容：)

3.1.2 副主治医の依頼先の選定で重視することをお答えください。

- 患者宅からの距離
 患者が必要としている処置への対応
 既に他の患者の副主治医をお願いしていること
 普段からの信頼関係
 その他→ (内容：)

- 病院に後方支援病院をお願いしている
 病院に副主治医をお願いしている
 複数人の医師で時間外の担当を当番で回している
 その他取り組み→ (内容：)

3.2 他の医療機関の副主治医を引き受けていますか。

- はい

→3.2.1 現在引き受けている副主治医としての患者数をお答えください。(おおよその数で結構です) () 人

3.2.2 年間何回程度副主治医として実際に診療しますか。(おおよその数で結構です)
慢性期の患者… () 回
ターミナル期の患者… () 回

3.2.3 どういった場合に副主治医として診療にあたりますか。(実例が無く、想定しているのみである場合も含む) (複数回答可)

- 病院への搬送が必要ではないが、主治医の到着が待てない事態になった場合
 主治医が数日間不在になることが分かっている場合に、その期間に患者が看取りを迎える可能性のある場合
 直接患者家族から往診の依頼があった場合
 その他→ (内容：)

3.2.4 どういった場合に副主治医が診療にあたると良いと思いますか。

()

- いいえ

3.3 連携している訪問看護ステーションをお答えください。(複数回答可)

- 坂井地区医師会訪看S 訪看Sなるざりハビリサービス
 あわら病院訪看Sアリス 坂井地区医師会霞の郷訪看S
 ハートフル訪看S トゥモローズ訪問看護・リハセンター
 シンシア訪看S 春江病院訪看S ハート&ハート訪看S
 坂井地区外の訪看S→ (ステーション名：)

問5は問1で「訪問診療や往診を実施している」以外を選択した方のみ回答してください

問5 在宅医療を実施しないことについて

5.1 在宅医療を実施しない理由をお答えください。

(3つまで回答し、最も重視する選択肢に◎(マル)を付けてください)

- 在宅医療を始めたい(始めてもよい)が、外来患者の対応で手いっぱいである。
- 在宅医療を始めたい(始めてもよい)が、時間外の対応が負担である。
- 在宅医療を始めたい(始めてもよい)が、緊急時の対応や連携体制に不安がある。
- 在宅医療を始めたい(始めてもよい)が、在宅を希望する患者が見つからない。
- 在宅医療を始めたい(始めてもよい)が、スタッフが足りない。
- 在宅医療を始めたい(始めてもよい)が、初期投資が負担である。
- 在宅医療を始めたい(始めてもよい)が、運営・経営上のノウハウが分からない。
- 在宅医療を始めたい(始めてもよい)が、医業収益が減少するおそれを感じる。
- 在宅医療を始めたい(始めてもよい)が、在宅医療特有のスキルに不安がある。
- 在宅医療を始めたい(始めてもよい)が、介護サービス側との連携に不安がある。
- 在宅医療を始めたい(始めてもよい)が、自身の体力上の問題に不安がある。
- 在宅医療よりも他医療機関の非常勤や施設嘱託に充てる時間を優先したい。
- 経営上、在宅医療に手を広げなくても外来患者のみの対応で十分やっていける。
- 周りの医師が在宅医療に取り組んでいるので、自院が取り組まなくても良いと思う。
- 自院の診療科は在宅医療にあまり関われないと思う。
- そもそも、在宅医療の必要性や意義を感じない。
- その他→(内容:)

5.2 あれば在宅医療を前向きに検討できると考える施策をお答えください。

(3つまで回答し、最も重視する選択肢に◎(マル)を付けてください)

- 在宅医療の医療技術上のノウハウを学べる資料
- 在宅医療の運営・経営上のノウハウを学べる資料
- 在宅医療の医療技術上のノウハウを学べる場
- 在宅医療の運営・経営上のノウハウを学べる場
- 在宅医が悩みや解決方法を共有できる場
- 緊急時の受け入れ病院の確保
- 自身が不在時に患者に対応してくれる副主治医の確保
- 自身が不在時に患者を受け入れてくれる病院の確保
- 訪問看護師の機能強化による在宅医の負担軽減
- 訪問看護ステーションや訪問看護師数の増加
- 歯科、薬局、介護事業者の在宅医療に対する理解を高めるための事業
- 住民が在宅医療を利用したくなるための普及・啓発
- 在宅医療を始めるにあたっての初期費用の補助
- 在宅医療を始めたことで生じる医業上の損失補填
- 在宅医療に関する診療報酬上のインセンティブ
- その他→(内容:)

問6は全ての方が回答してください

問6 その他

6.1 今後の在宅医療に対する意向をお答えください。

種別	取り組み	対応患者数
訪問診療	<input type="checkbox"/> 今後も続ける <input type="checkbox"/> やめたい <input type="checkbox"/> 新たに始めたい <input type="checkbox"/> 今後もしない	<input type="checkbox"/> 増やせる <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減らしたい
往診（外来時間内）	<input type="checkbox"/> 今後も続ける <input type="checkbox"/> やめたい <input type="checkbox"/> 新たに始めたい <input type="checkbox"/> 今後もしない	<input type="checkbox"/> 増やせる <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減らしたい
往診（外来時間外）	<input type="checkbox"/> 今後も続ける <input type="checkbox"/> やめたい <input type="checkbox"/> 新たに始めたい <input type="checkbox"/> 今後もしない	<input type="checkbox"/> 増やせる <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減らしたい
訪問診療利用患者以外への往診	<input type="checkbox"/> 今後も続ける <input type="checkbox"/> やめたい <input type="checkbox"/> 新たに始めたい <input type="checkbox"/> 今後もしない	<input type="checkbox"/> 増やせる <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減らしたい
在宅ターミナルケア	<input type="checkbox"/> 今後も続ける <input type="checkbox"/> やめたい <input type="checkbox"/> 新たに始めたい <input type="checkbox"/> 今後もしない	<input type="checkbox"/> 増やせる <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減らしたい
在宅看取り	<input type="checkbox"/> 今後も続ける <input type="checkbox"/> やめたい <input type="checkbox"/> 新たに始めたい <input type="checkbox"/> 今後もしない	<input type="checkbox"/> 増やせる <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減らしたい
小児在宅	<input type="checkbox"/> 今後も続ける <input type="checkbox"/> やめたい <input type="checkbox"/> 新たに始めたい <input type="checkbox"/> 今後もしない	<input type="checkbox"/> 増やせる <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 減らしたい

6.2 差し支えなければ、ご年齢、ご自宅と診療所間の距離をお教えてください。

年齢： ～30代 40代 50代 60代 70代～
自宅と診療所間の距離： 隣接・同一建物
 隣接・同一建物でない→（距離：約 km）

6.3 その他、在宅医療全般に関するご意見があればお聞かせください。

[]

御協力ありがとうございました。

本アンケートは、FAX（〇〇-〇〇〇〇）、郵送、ご持参等により坂井地区医師会宛てにご提出ください。 （5月31日（水）締切）

また、本アンケートの内容に関するご質問やご不明の点がありましたら、
県長寿福祉課（〇〇-〇〇〇〇）までお申し付けください。

在宅医療実態調査 調査票

団塊の世代が全て後期高齢者となる 2025 年に備え、見込まれる在宅医療の需要増への対応が喫緊の課題となっています。そこで、坂井地区において各医療機関の皆様がどのように在宅医療に取り組んでいるのかを把握することで今後の効果的な在宅医療施策に繋げることを目的とした調査を実施しますので、御協力をよろしくお願いいたします。

なお、ご回答いただいた内容については、匿名化した集計結果を坂井地区医師会内においてのみ公表し医師会外に出す情報については都度協議するとともに、個票は一切非公表といたします。また、ご回答いただいた内容を基に個別の医療機関にとって有利または不利になる取り扱いを行うことや特定の施策の実施を依頼することはありません。

回答方法

・行頭が「□」のものは選択回答式ですので、該当箇所に「☑(チェック)」を入れてください。

医療機関名：

問1 在宅医との取り決めの上、あらかじめ在宅患者の後方支援病床を確保しておく取り組みをしていますか。

はい

→1.1 年間の受け入れの実績はどれくらいですか。(大まかな数で結構です)

0～1件程度 5件程度 10件程度

15件程度 20件程度 それ以上→(人程度)

1.2 どのようなケースを受け入れることにしていますか。(複数回答)

患者急変時(救命の見込み有)

患者急変時(看取りの見込み)

患者急変時(転倒等これまでの在宅医療処置の延長線上にない症状)

褥瘡等の定期的なケア

患者・家族のレスパイト

その他→(内容:)

特に基準は設けていない(都度判断)

いいえ

問2 在宅医の都合により患者を一時的に預かる「在宅医のレスパイト」についてどのようにお考えですか。

既に受け入れている

まだ受け入れていないが、受け入れても良い

受け入れるつもりはない

[例]在宅医が学会で数日福井を離れるため患者の対応ができない期間に、当該患者の看取りが予期される場合に前もって病院が受け入れる。

団塊の世代が全て後期高齢者となる 2025 年に備え、見込まれる在宅医療の需要増への対応が喫緊の課題となっています。そこで、坂井地区において各訪問看護ステーションの皆様がどのように在宅医と連携しているのかを把握することで今後の効果的な在宅医療施策に繋げることを目的とした調査を実施しますので、御協力をよろしくお願いいたします。

なお、ご回答いただいた内容については、匿名化した集計結果を坂井地区医師会および地区内訪問看護ステーション内においてのみ公表し医師会・訪看S外に出す情報については都度協議するとともに、個票は一切非公表といたします。また、ご回答いただいた内容を基に個別の訪看Sにとって有利または不利になる取り扱いを行うことや特定の施策の実施を依頼することはありません。

回答方法

・行頭が「□」のものは選択回答式ですので、該当箇所に「☑(チェック)」を入れてください。

訪問看護ステーション名：

問1 訪問看護の実際

1.1 現在対応している在宅患者の人数をお答えください。(おおよその数で結構です)

慢性期の患者（訪問診療や往診を受けている）…（ ）人

慢性期の患者（外 来 に 行 っ て い る ）…（ ）人

ターミナル期の患者…（ ）人

※本調査での定義

・慢性期：比較的病状が安定しており、計画的な訪問で対応できる状態

・ターミナル期：看取りを控え、病状が不安定で頻回の緊急往診等計画し難い対応が必要な状態

1.2 現在対応している在宅患者の居住地をお答えください。(おおよその数で結構です)

旧芦原町…（ ）人 旧金津町…（ ）人 旧三国町…（ ）人

旧丸岡町…（ ）人 旧春江町…（ ）人 旧坂井町…（ ）人

坂井地区外…（ ）人

1.3 新たに在宅医療を希望する患者を、人員不足といった受け入れ態勢が十分ではないこと等の理由から断ることはありますか。

ある ない

1.4 事業所から何 km 圏内まで訪問していますか。(目安で結構です)

3km 程度以内 5km 程度以内 10km 程度以内

15km 程度以内 20km 程度以内 20km 程度以上

問3 看取り

3.1 在宅看取りの対応はしていますか。(実績がある・ないに関わらず、対応可能としている場合は「はい」としてください)

はい

→3.1.1 看取り期における医師との連携の仕方をお答えください。

出来る限り医師が24時間対応とする

夜間は訪問看護師のみが訪問し、医師は翌朝訪問する

その他→(内容: _____)

いいえ

3.2 その他在宅看取りに対する工夫や抱えている問題点、ご意見をお教えてください。

[_____]

問4 今後の意向

4.1 緊急時対応

今はしていないが、新たに始めたい

今はしていないし、今後もしない

今はしているが、やめたい

今もしているし、今後も続けたい

4.2 常勤換算数

増やしたい

増やしたいが応募が少ない

減らしたい

現状維持

4.3 対応患者数

増やせる

減らしたい

現状維持

4.4 訪問看護ステーション(サテライトを含む)の新設(坂井地区内)

新設したい

新設するつもりはない

未定・不明

4.5 訪問看護ステーション(サテライトを含む)の新設(坂井地区外)

新設したい

新設するつもりはない

未定・不明

問5 その他在宅医療全般に関するご意見等ありましたらお教えてください。

[_____]

御協力ありがとうございました。

本アンケートは、FAX(〇〇-〇〇〇〇)、郵送、ご持参等により坂井地区医師会宛てにご提出ください。(5月31日(水)締切)

また、本アンケートの内容に関するご質問やご不明の点がありましたら、
県長寿福祉課(〇〇-〇〇〇〇)までお申し付けください。

在宅医療実態調査 調査票（H30補足調査）

昨年度は、在宅医療実態調査に御協力いただきありがとうございました。調査の結果、在宅医の皆様がどのように在宅医療を実施しているかを見える化するとともに、2025年の坂井地区の在宅患者が現在の●. ●倍になる見込みが明らかになりました。

これを踏まえ、将来坂井地区でどれだけ在宅患者に対応できそうかを推計することを目的とした補足調査を実施しますので、御協力をお願いいたします。

なお、ご回答いただいた内容については、匿名化した集計結果を坂井地区医師会内においてのみ公表し医師会外に出す情報については都度協議するとともに、個票は一切非公表といたします。また、ご回答いただいた内容を基に個別の医療機関にとって有利または不利になる取り扱いを行うことや特定の施策の実施を依頼することはありません。

回答方法

- ・医療機関としてではなく、医師個人としてご回答ください。
- ・行頭が「□」のものは選択回答式ですので、該当箇所に「 (チェック)」を入れてください。

氏名： _____ 医療機関名： _____

問1は全ての方が回答してください

問1 在宅医療は実施していますか。

- 実施している → 問3へ（次ページ）
- 実施していない → 問2へ

問2は現在在宅医療を実施していない方のみ回答してください

問2 今後、在宅医療を実施する意向はありますか。

- 実施したい
- 必要に迫られれば実施するかもしれない
- 実施したいが課題があって実施できない
→課題の内容をお教えてください（ ）
- 外来患者からの依頼があれば、場合によっては受け入れるかもしれない
- 訪問には行かないが、在宅医と何かしら連携することで在宅医療の役に立ちたい
→具体的な連携案があればお教えてください（ ）
- 実施するつもりはない

→ 問6へお進みください（3ページ目）

問3～5は現在在宅医療を実施している方のみ回答してください

問3 平成30年6月に実施した訪問診療等の**人数・算定件数**をお答えください。

訪問診療		
在宅患者訪問診療料(I)		在宅患者訪問診療料(II)
同一建物居住者以外	同一建物居住者	
_____人	_____人	_____人
_____件算定	*のべ_____回訪問 _____件算定	_____件算定

往診	特養等の嘱託
_____人	_____人
_____件算定	*のべ_____回訪問

*例 「15日にA施設とB施設、25日にB施設とC施設を訪問した場合」
→「のべ4回訪問」

問4 **7年後**の2025年には、旧**芦原町**圏域では在宅医1人当たりの在宅患者数が**●. ●人増える(●. ●●倍になる)**と見込まれています。

ご自身の年齢や社会情勢の変化等を考慮して、7年後には**月に何件程度**の訪問診療ができると考えますか。(感覚ベースで結構です)

月_____件程度



そう考える理由をご記入ください

(_____)

[参考] 7年後の訪問診療の考え方

問3で回答された訪問診療の各件数を合計して●.●●倍すると、7年後の訪問診療の需要に対応した場合の月の訪問回数が算出されますので、現状と比較してどれだけ増やせそうか、現状維持程度か、あるいは減りそうかご検討ください

例：

訪問診療		
在宅患者訪問診療料(I)		在宅患者訪問診療料(II)
同一建物居住者以外	同一建物居住者	
5人	12人	0人
8件	*のべ7回訪問 12件	0件



月の件数 20件

→20件/月 × ●. ●●

→ 約●●件/月

問5 現在、訪問に充てる時間をどのような方法で確保していますか。

また、7年後に問4で回答された人数の在宅患者を診る際には、訪問に充てる時間をどのような方法で確保することになると思われますか。

※基本的な方法に「○」を、随時採用する方法に「△」をご記入ください

	現在	7年後
①外来の時間内に合間を見て随時訪問		
②昼休みに訪問		
③曜日によって訪問する時間をあらかじめ決めて訪問 (午後の前半等に外来を入れない時間を作る)		
④午後が外来休診の日に訪問 (木・土曜日など)		
⑤午後の外来終了後に訪問 (夕方～夜間)		
⑥外来を他の医師に任せて、外来時間中に訪問		
⑦その他 ()		

問6は**全ての方が**回答してください

問6 在宅医療全般に関するご意見があればお聞かせください。

()

御協力ありがとうございました。本アンケートは、FAX (〇〇-〇〇〇〇)、郵送、ご持参等により坂井地区医師会宛てにご提出ください。 (7月31日(火)締切)

また、本アンケートの内容に関するご質問やご不明の点がありましたら、県長寿福祉課 (〇〇-〇〇〇〇) までお申し付けください。

〇〇健康福祉センター 〇〇行 (FAX: 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)

入退院支援における医療と介護との連携に関するアンケート

福井県では、医療と介護の関係者が連携し、患者のスムーズな在宅移行を支援するため、「福井県入退院支援ルール」を作成し、平成28年4月から運用しております。

つきましては、医療と介護との連携状況を把握し、今後のルールの運用にあたっての参考とするため、貴事業所の各担当ケースについて、入退院時の状況等をお答えいただきますようお願いいたします。

なお、本アンケートで回答いただく事業所名、ケアマネジャー個人名は一切公表せず、事業所名等が特定できる形で集計結果を公表することはありません。また、本アンケートをもとに事業所等に個別に指導したり、有利・不利な取り扱いをしたりすることはありません。

事業所名 _____ ケアマネジャー氏名 _____ 電話番号 _____ () _____

↑ 事業所で受託している包括業務に従事している場合は包括名をご記入ください

(あてはまる□に☑を入れてください)

問1 平成30年7月1日現在の担当利用者数をご記入ください

(要介護) _____人 (要支援) _____人

問2 平成28年4月から運用されている「福井県入退院支援ルール」はご存じですか

知っている 知らなかった

問3 「福井県入退院支援ルール」の以下の資料は使用されていますか(複数回答可)

ルール本体(連携フロー) 入院時情報提供シート 窓ロ一覽 活用していない

問4 「福井県入退院支援ルール」について、事業所内で周知・研修等の取り組みは行っていますか

行っている → (取り組み内容: _____)
行っていないが、今後行う予定
行っていないし、今後行う予定もない

問5 平成30年7月中に**入院**した担当利用者数をご記入ください(現在は担当していないが入院するまで担当していたケースを含む。総合事業のみの利用者を除く。問6も同様)

(要介護) _____人 (要支援) _____人

問6 上記のケースのうち、入院時に病院・有床診療所に情報を提供した件数をご記入ください

(要介護)

カンファレンス・個別面談(文書有) _____件 カンファレンス・個別面談(文書無) _____件
 文書のみ _____件 電話のみ _____件

(要支援)

カンファレンス・個別面談(文書有) _____件 カンファレンス・個別面談(文書無) _____件
 文書のみ _____件 電話のみ _____件

問7 入退院時における病院・有床診療所等との連携でうまくいった点や問題点、「福井県入退院支援ルール」への御意見等をお書きください

(_____)

問 8 平成 30 年 7 月中に退院した担当利用者数をご記入ください

人 ↓各ケースについて、①～⑨にご回答ください（ケースごとに縦方向にご回答ください）

①入院していた医療機関	<input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 有床診療所 <input type="checkbox"/> 連携室あり <input type="checkbox"/> 連携室なし	<input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 有床診療所 <input type="checkbox"/> 連携室あり <input type="checkbox"/> 連携室なし	<input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> 有床診療所 <input type="checkbox"/> 連携室あり <input type="checkbox"/> 連携室なし
②入院形態	<input type="checkbox"/> 予定入院 <input type="checkbox"/> 緊急入院 <input type="checkbox"/> 転院	<input type="checkbox"/> 予定入院 <input type="checkbox"/> 緊急入院 <input type="checkbox"/> 転院	<input type="checkbox"/> 予定入院 <input type="checkbox"/> 緊急入院 <input type="checkbox"/> 転院
③入院先への情報提供	<input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> しなかった <input type="checkbox"/> 担当利用者ではなかった	<input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> しなかった <input type="checkbox"/> 担当利用者ではなかった	<input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> しなかった <input type="checkbox"/> 担当利用者ではなかった
④入院のきっかけとなった主な疾病等 (1つ選択)	<input type="checkbox"/> 脳卒中 <input type="checkbox"/> 認知症 <input type="checkbox"/> 心疾患 <input type="checkbox"/> 肺炎 <input type="checkbox"/> 悪性新生物 <input type="checkbox"/> 呼吸器疾患 <input type="checkbox"/> 骨折・外傷 <input type="checkbox"/> リハ・検査・リハビリ <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 脳卒中 <input type="checkbox"/> 認知症 <input type="checkbox"/> 心疾患 <input type="checkbox"/> 肺炎 <input type="checkbox"/> 悪性新生物 <input type="checkbox"/> 呼吸器疾患 <input type="checkbox"/> 骨折・外傷 <input type="checkbox"/> リハ・検査・リハビリ <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 脳卒中 <input type="checkbox"/> 認知症 <input type="checkbox"/> 心疾患 <input type="checkbox"/> 肺炎 <input type="checkbox"/> 悪性新生物 <input type="checkbox"/> 呼吸器疾患 <input type="checkbox"/> 骨折・外傷 <input type="checkbox"/> リハ・検査・リハビリ <input type="checkbox"/> その他()
⑤入院時の介護度	<input type="checkbox"/> 未認定 <input type="checkbox"/> 支援 1 <input type="checkbox"/> 支援 2 <input type="checkbox"/> 介護 1 <input type="checkbox"/> 介護 2 <input type="checkbox"/> 介護 3 <input type="checkbox"/> 介護 4 <input type="checkbox"/> 介護 5 <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 未認定 <input type="checkbox"/> 支援 1 <input type="checkbox"/> 支援 2 <input type="checkbox"/> 介護 1 <input type="checkbox"/> 介護 2 <input type="checkbox"/> 介護 3 <input type="checkbox"/> 介護 4 <input type="checkbox"/> 介護 5 <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 未認定 <input type="checkbox"/> 支援 1 <input type="checkbox"/> 支援 2 <input type="checkbox"/> 介護 1 <input type="checkbox"/> 介護 2 <input type="checkbox"/> 介護 3 <input type="checkbox"/> 介護 4 <input type="checkbox"/> 介護 5 <input type="checkbox"/> 不明
⑥退院時の介護度(変更認定見込含む)	<input type="checkbox"/> 支援 1 <input type="checkbox"/> 支援 2 <input type="checkbox"/> 介護 1 <input type="checkbox"/> 介護 2 <input type="checkbox"/> 介護 3 <input type="checkbox"/> 介護 4 <input type="checkbox"/> 介護 5	<input type="checkbox"/> 支援 1 <input type="checkbox"/> 支援 2 <input type="checkbox"/> 介護 1 <input type="checkbox"/> 介護 2 <input type="checkbox"/> 介護 3 <input type="checkbox"/> 介護 4 <input type="checkbox"/> 介護 5	<input type="checkbox"/> 支援 1 <input type="checkbox"/> 支援 2 <input type="checkbox"/> 介護 1 <input type="checkbox"/> 介護 2 <input type="checkbox"/> 介護 3 <input type="checkbox"/> 介護 4 <input type="checkbox"/> 介護 5
⑦退院時の患者 ADL	【排泄(主な手段1つ選択)】 <input type="checkbox"/> トイレ(自立) <input type="checkbox"/> トイレ(要介助) <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> おむつ	【排泄(主な手段1つ選択)】 <input type="checkbox"/> トイレ(自立) <input type="checkbox"/> トイレ(要介助) <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> おむつ	【排泄(主な手段1つ選択)】 <input type="checkbox"/> トイレ(自立) <input type="checkbox"/> トイレ(要介助) <input type="checkbox"/> ポータブルトイレ <input type="checkbox"/> おむつ
	【食事】 <input type="checkbox"/> 普通食 <input type="checkbox"/> 嚥下食 <input type="checkbox"/> 経管栄養	【食事】 <input type="checkbox"/> 普通食 <input type="checkbox"/> 嚥下食 <input type="checkbox"/> 経管栄養	【食事】 <input type="checkbox"/> 普通食 <input type="checkbox"/> 嚥下食 <input type="checkbox"/> 経管栄養
	【寝たきり度】 <input type="checkbox"/> J <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C	【寝たきり度】 <input type="checkbox"/> J <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C	【寝たきり度】 <input type="checkbox"/> J <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C
	【認知症】 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> M	【認知症】 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> M	【認知症】 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> M
⑧病院・有床診療所からの退院時情報提供	<input type="checkbox"/> 有(↓以下回答) <input type="checkbox"/> 無 【退院日等の連絡(第一報)があった時期】 <input type="checkbox"/> 退院前→(___ 日前) <input type="checkbox"/> 退院当日 <input type="checkbox"/> 退院後	<input type="checkbox"/> 有(↓以下回答) <input type="checkbox"/> 無 【退院日等の連絡(第一報)があった時期】 <input type="checkbox"/> 退院前→(___ 日前) <input type="checkbox"/> 退院当日 <input type="checkbox"/> 退院後	<input type="checkbox"/> 有(↓以下回答) <input type="checkbox"/> 無 【退院日等の連絡(第一報)があった時期】 <input type="checkbox"/> 退院前→(___ 日前) <input type="checkbox"/> 退院当日 <input type="checkbox"/> 退院後
	【退院時情報提供を受けた時期】 <input type="checkbox"/> 退院前→(___ 日前) <input type="checkbox"/> 退院当日 <input type="checkbox"/> 退院後	【退院時情報提供を受けた時期】 <input type="checkbox"/> 退院前→(___ 日前) <input type="checkbox"/> 退院当日 <input type="checkbox"/> 退院後	【退院時情報提供を受けた時期】 <input type="checkbox"/> 退院前→(___ 日前) <input type="checkbox"/> 退院当日 <input type="checkbox"/> 退院後
	【提供方法(複数回答可)】 <input type="checkbox"/> 文書 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> カンファレンス <input type="checkbox"/> 個別面談	【提供方法(複数回答可)】 <input type="checkbox"/> 文書 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> カンファレンス <input type="checkbox"/> 個別面談	【提供方法(複数回答可)】 <input type="checkbox"/> 文書 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> カンファレンス <input type="checkbox"/> 個別面談
	【直接やり取りした職種(複数回答可)】 <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 薬剤師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 管理栄養士 <input type="checkbox"/> PT <input type="checkbox"/> OT <input type="checkbox"/> ST <input type="checkbox"/> MSW <input type="checkbox"/> その他()	【直接やり取りした職種(複数回答可)】 <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 薬剤師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 管理栄養士 <input type="checkbox"/> PT <input type="checkbox"/> OT <input type="checkbox"/> ST <input type="checkbox"/> MSW <input type="checkbox"/> その他()	【直接やり取りした職種(複数回答可)】 <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 歯科医師 <input type="checkbox"/> 薬剤師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 管理栄養士 <input type="checkbox"/> PT <input type="checkbox"/> OT <input type="checkbox"/> ST <input type="checkbox"/> MSW <input type="checkbox"/> その他()
	【情報の評価】 <input type="checkbox"/> 役に立った <input type="checkbox"/> やや役に立った <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分	【情報の評価】 <input type="checkbox"/> 役に立った <input type="checkbox"/> やや役に立った <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分	【情報の評価】 <input type="checkbox"/> 役に立った <input type="checkbox"/> やや役に立った <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分
	⑨入院日数	___ 日	___ 日

※ 4 件以上ある場合はお手数ですが本用紙をコピーしてご記入ください

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。8月24日(金)までに下記までご回答ください。

宛先：〇〇健康福祉センター 〇〇あて (Fax: 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)

〇〇健康福祉センター 〇〇行 (FAX: 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇)

入退院支援における医療と介護との連携に関するアンケート

福井県では、医療と介護の関係者が連携し、患者のスムーズな在宅移行を支援するため、「福井県入退院支援ルール」を作成し、平成28年4月から運用しております。

つきましては、医療と介護との連携状況を把握し、今後のルールの運用にあたっての参考とするため、貴病院・有床診療所の各担当ケースについて、入退院時の状況等をお答えいただきますようお願いいたします。

なお、本アンケートで回答いただく病院・有床診療所名は一切公表せず、病院名等が特定できる形で集計結果を公表することはありません。また、本アンケートをもとに病院等に個別に指導したり、有利・不利な取り扱いをしたりすることはありません。

医療機関名 _____ 回答者名 _____ 電話番号 () _____

(あてはまる□に☑を入れてください)

問1 平成28年4月から運用されている「福井県入退院支援ルール」はご存じですか

知っている 知らなかった

問2 「福井県入退院支援ルール」の以下の資料は使用されていますか(複数回答可)

ルール本体(連携フロー) 退院支援情報共有シート 窓口一覧 活用していない

問3 「福井県入退院支援ルール」について、医療機関内で周知・研修等の取り組みは行っていますか

行っている → (取り組み内容: _____)
行っていないが、今後行う予定
行っていないし、今後行う予定もない

問4 在宅において栄養管理・食事支援が必要な患者に対し、退院にあたり、何らかの支援を行っていますか

基本的に行っている 必要に応じて行っている あまり行っていない ほとんど行っていない

→問5～7へ

→問8へ

問5 退院支援にあたり、在宅において栄養管理・食事支援が必要な患者のスクリーニングを行っていますか(低栄養・摂食嚥下機能・経管栄養等)

行っている 行っていない

問6 在宅において栄養管理・食事支援が必要な患者の支援は、どのように行っていますか(複数回答可)

誰が: 医師 管理栄養士 病棟看護師 連携室スタッフ 言語聴覚士 その他(_____)
 誰に: 本人・家族 ケアマネ 訪問看護師 ヘルパー 施設スタッフ その他(_____)
 どこで: 個別指導 カンファレンス 退院後(外来) 退院後(居宅訪問) その他(_____)

問7 摂食嚥下機能に応じた、とろみやきざみ等の程度についての院内基準を設けていますか

院独自の基準を用いている
学会や圏域等が作成した基準を用いている(用いている基準名: _____)
特に基準を設けていない

問8 平成30年7月中に退院した要介護/支援認定患者数をご記入ください(退院時点で認定見込みの方を含む)

_____人

問9 上記のケースのうち、退院調整時にケアマネに情報を提供した件数をご記入ください

カンファレンス・個別面談(文書有) _____件 カンファレンス・個別面談(文書無) _____件
 文書のみ _____件 電話のみ _____件

福井県 市町別在宅医療・介護連携関連データ【H30.4.1】

保健所 圏域名	市町名	ストラクチャー指標状況																																
		地域包 括支援 センター 数	医療機関数											在宅医療対応 医師数		歯科医療機関数					在宅医療対応 歯科医師数		薬局数				訪問看護ST数							
			全体		在宅医療対応			在宅療養支援診療所 ・在宅医療用支援病院			在宅がん医療 対応		全体			在宅医療対応		摂食障害 治療対応		全体			訪問指導対応		全体		24時間対応		看護職員数					
			H29	病院	診療所	H27	H28	H29	H28	H29	病院	診療所	H28	H29	H24	H29	H27	H28	H29	H28	H29	H24	H29	H26	H27	H29	H27	H29	H28	H29	H28	H29	H28	H29
福井	福井市																																	
	永平寺町																																	
坂井	あわら市																																	
	坂井市																																	
奥越	大野市																																	
	勝山市																																	
丹南	鯖江市																																	
	池田町																																	
	越前町																																	
	越前市																																	
	南越前町																																	
二州	敦賀市																																	
	美浜町																																	
若狭	小浜市																																	
	高浜町																																	
	おおい町																																	
	若狭町																																	
県計																																		

出典	30年4月 時点	30年4月時点	29年10月時点	30年4月時点	29年10月時点	30年4月時点	29年10月時点	毎年9月時点
	県長寿福祉課 (サブセンター等含)	全体⇒県地域医療課データ(外来対応機関) 在宅対応⇒医療情報ネット(訪問診療または終日往診可能) 24時間対応届出⇒近畿厚生局届出受理機関名簿 在宅がん医療対応⇒医療情報ネット(在宅がん医療総合診療料算定)	県医療機能調査	全体⇒県地域医療課まとめ 在宅医療対応⇒医療情報ネット(訪問歯科診療可能) 摂食障害治療対応⇒医療情報ネット(歯科領域の「摂食機能障害の治療」対応可)	県医療機能調査	全体⇒近畿厚生局届出受理機関名簿 訪問指導対応⇒在宅患者訪問薬剤管理指導料の算定届出機関	県長寿福祉課 (サテライト除く)	訪問看護実態調査 (県看護協会)

保健所 圏域名	市町名	プロセス指標状況									基礎データ等																	
		在宅医療利用者数			訪問歯科診療利用者数			訪問看護利用者数 (利用者居住地ベース)			人口	高齢者数	高齢化率	後期 高齢者数	後期 高齢化率	要介護 認定者数	人口	人口 増減数 予測	後期高齢者人口予測			要介護認定者1000人当たり				在宅医1 人当たり 在宅患 者数	訪問診療 需要予測	
		H27	H28	H29	H27	H28	H29	H27	H28	H29	H29	H29	H29	H29	H29	H29	2025 (予測)	H29→ 2025	人数	増減数	増減率	在宅医 数	在宅歯 科医数	訪問薬 剤師数	訪問看 護師数	H29	2025 (予測)	H29→ 2025
福井	福江市																											
	永平寺町																											
坂井	あわら市																											
	坂井市																											
奥越	大野市																											
	勝山市																											
丹南	鯖江市																											
	池田町																											
	越前町																											
	越前市																											
	南越前町																											
二州	敦賀市																											
	美浜町																											
若狭	小浜市																											
	高浜町																											
	おおい町																											
	若狭町																											
	県計																											

出典	各年度9月実績 国保・後期レセプト(県国保連合 会・支払基金)	各年度9月実績 国保・後期レセプト(県国保連合会・支 払基金)	各年度9月分実績 訪問看護実態調査 (県看護協会)	30年1月1日時点 県推計人口データ	29年12月 時点 介護保険事 業状況報告 (暫定)	国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)
----	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------	-----------------------	--	---

第7次 福井県医療計画 (案)
